

第1時の指導

(1) 目標

購入する物を選ぶ活動と今までの買物を振り返る活動を通して、今までの買物で足りなかったことやこれから身に付けたいことを見だし、自分の課題を設定することができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入 10分	1 これまでの買物の経験から、「買物で気を付けていること」を出し合う。 2 本時の課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域のお店をいくつか提示することで、普段の買物を想起できるようにする。 「買物で気を付けていること」を出し合い、買物では「お金の使い方」や「物の選び方」などを考える必要があることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなお店の写真
	【学習課題】 買う物（購入する物）を選ぶ活動をして、これからの学習の課題を見つけよう。		
展開 30分	3 課題を解決する。 (1) 購入する物を選ぶ活動をする。 (2) 題材の学習課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 4種類の米から購入したい米を選び、選んだ理由を確認することで、選ぶ理由は人それぞれであることを実感できるようにする。 購入する物を選ぶ活動を通して気づいたことや考えたことを交流しながら「よりよい買い物」という視点に気付くようにし、学級全体の題材の課題を設定する。 「消費」「消費者」という言葉を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4種類の米の情報 考えの一覧表示 (ロイロノート)
	【題材の学習課題】 よりよい買い物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。		
	(3) これまでの自分の買物を振り返り、この学習を通して学びたいことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 「今までの自分の買い物」と「この学習を通して学びたいこと」の2点を記述することで、自分の生活を見つめて各自の課題を設定できるようにする。 ◇物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 (ワークシートの記述) [思・判・表]	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
終末 5分	4 題材の学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 題材の学習課題を解決するために、次時からの学習では、何を、どんな順で学ぶか、児童とやり取りをしながら見通しをもつようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
	5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を見つめて課題を設定できたか振り返るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート

第2時の指導

(1) 目標

お金の流れを可視化する活動と売買契約の成立について考える活動を通して、物や金銭の大切さや買物の仕組みについて理解することができる。(知識及び技能)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認める。	・前時に見通した学習計画から、題材の課題を解決するために学ぶ時間であることを確認する。	
3分	2 本時の課題を設定する。 【学習課題】 身近なお金の流れや買い物について知ろう。		
展開	3 課題を解決する。 (1) 家庭を中心としたお金の流れを知る。 ①収入と支出にはどのようなものがあるか考える。 ②「収入と支出のバランスが崩れた場合」の家庭について考えてみる。 (2) 買物の仕組みを理解する。 ①商品が決まった後の購入場面を確認しながら、どこで買物が成立するか考える。 ②売買契約について知る。 ③他の買物場面での売買契約の成立を確認める。	・家の絵に矢印を書き込みながら、「収入」と「支出」の意味を確認める。 ・「収入」と「支出」には、それぞれどのようなものがあるか出し合う。その際、電気やガス、習い事の費用等、見えにくい支出を取り上げ、買物だけでない支出もあることに気付くようにする。 ・バランスが崩れた場合を想像することで、物や金銭の大切さについて考える機会をもつ。 ・買物の仕組みに関わる商品の購入場面を4つの場面に分け、どの場面で買物が成立するか話し合う。 ・「売買契約」について確認し、改めてどの場面で契約が成立するか確認する。 ・出前の注文、インターネットの購入、自動販売機等、他の買物場面での契約の成立を確認め、「合意」によって成立することについて理解を深めるようにする。	・家の絵 (ロイロノート) ・4つの場面の表示 他の買物場面の絵 (ロイロノート)
37分			
終末	4 本時の学習を振り返る。 ・分かったこと 自分の生活にいかしたいこと	・本時に学習した内容を全体で振り返って確認する。 ・本時の学習内容 (収入と支出・買物の仕組み) について、それぞれ分かったことを書くようにする。 ◇物や金銭の大切さや買物の仕組みについて理解している。 (ワークシートの記述) [知・技]	・ワークシート
5分			

第3時の指導

(1) 目標

おこづかいゲームや買物の経験を基にしながら話し合う活動を通して、身近な物の買い方（買物の流れ、考えること、支払い方法等）について理解することができる。（知識及び技能）

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）	資料（教材教具）等
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 2 本時の課題を設定する。	・題材の学習計画から、課題を解決するために学ぶ時間であることを確認する。	
3分	【学習課題】 身近な物の買い方について知ろう。		
展開	3 課題を解決する。 （1）おこづかいゲームの体験とこれまでの経験を基に、身近な物の買い方を確認する。 ①おこづかいゲームを行う。 ②おこづかいゲームの感想を交流する。 ③買物の成功経験や失敗した経験を出し合う。 ④身近な物の買い方についてまとめる。 （2）支払い方法について理解する。 ①いろいろな支払方法について知る。 ②注意することを考える。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〔おこづかいゲーム〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1か月のおこづかいは、500円。 ・1か月に2回、買物場面を設定。 ・じゃんけんの勝ち・負け・あいこでイベントが変わる。 ・これを2か月分繰り返す。 <p>※これらを、先生とじゃんけんしながらみんなで進め、おこづかい帳に記入していく。</p> </div> <p>・おこづかいゲームを通しておこづかい帳の記入の仕方を理解できるようにする。</p> <p>・おこづかいゲームの感想から、欲しいものと必要なものがあることや、お金を計画的に使う必要があることを確認する。</p> <p>・買物の成功経験や失敗した経験を出し合い、買う目的や購入後のことを考える、購入の時期を検討する、情報を集める等、身近な物の買い方について確認し、買物の流れに沿ってまとめていく。</p> <p>・支払い方法として、現金の他に、「商品券」「使い切りのプリペイドカード」「チャージ型プリペイドカード」「クレジットカード」「スマホ決済」等について説明する。</p> <p>・お金と同じ価値があり、取り扱いに注意する必要があることに気付くようにする。</p> <p>・児童の実態に応じて、インターネットでの「課金」について、大まかな仕組みや注意することについて確認する。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・おこづかいゲーム</p> <p>・支払い方法の掲示</p> <p>・ワークシート</p>
37分			
終末	4 本時の学習を振り返る。 ・分かったこと 自分の生活にいかしたいこと	<p>・本時に学習した内容を全体で振り返って確認する。</p> <p>・本時の学習内容（身近な物の買い方）について、それぞれ分かったことを書くようにする。</p> <p>◇身近な物の買い方について理解している。</p> <p>（ワークシートの記述）〔知・技〕</p>	
5分			

第4時の指導

(1) 目標

購入する物についての情報を収集、整理したり、選んだ理由について話し合ったりする活動を通して、身近な物（ノート）の選び方を考え、工夫することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）	資料（教材教具）等
導入 3分	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 2 本時の課題を設定する。 【学習課題】 よりよい買い物にするために、どのように選んだらよいのだろう。	・題材の学習計画から、考え、工夫して実践する時間として、ノートを選ぶ活動を確認する。	
展開 37分	3 課題を解決する。 (1) ノートの情報を収集、整理する。 ①状況の設定を確認する。 ②前時にまとめた手順から、実際に購入する物を選ぶ場面であることを確認する。 ③自分で情報を収集、整理する。 ④整理した情報について、班で共有し、追記したり修正したりする。 (2) 情報を基に購入するノートを選ぶ。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> [状況の設定] ・一人勉強ノートがなくなりそうである ・持っているお金は1000円（残ったお金はおうちの人に返す） ・ノートがなくなった時は、自分で買いに行くことになっている ・10mm方眼のノートは、算数・社会・理科・一人勉強で使っている </div> ・5種類のノートの情報について、ワークシートに整理することで、情報の一部を確認するのではなく、同じ観点で比較することが必要であることを実感できるようにする。 ・選んだ理由を具体的に書くように指示することで、根拠をもって意思決定できるようにする。 ◇身近な物の選び方について買物の計画を考え、工夫している。 (ワークシートの記述) [思・判・表]	・5種類のノート（ロイロノート） ・ワークシート
終末 5分	4 本時の学習を振り返る。 ・購入するノートを選ぶために取り組んだことや工夫したこと。	・本時に学習した内容を全体で振り返って確認する。 ・考えて取り組んだり、工夫したりした内容について、具体的に書くように促す。 ・次時は、考えを交流して最終決定をするとともに、身近な物の選び方についてまとめたり、自分の買物を振り返ったりすることを確認する。	

第5時の指導

(1) 目標

選び方を交流したり、まとめたりする活動を通して、自分の選び方について評価したり、改善策を考えたりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認める。	・前時に選んだ物とその理由を確認することで、前時の学習を振り返るようにする。 本時の学習活動を確認する。	
3分	2 本時の課題を設定する。		
	【学習課題】 よりよい買物にするために、どのように選んだらよいのだろう。		
展開	3 課題を解決する。 (1) 購入する物を選んだ理由を交流する。 (2) 物を選ぶ際の観点をまとめる。 (3) 購入するノートの最終決定をする。 (4) ノートを選ぶ活動を振り返る。 ・情報の収集や整理ができたか ・選び方はどうだったか ・これからどのように選んでいきたいか	・何を大切にしているかに注意して交流するように促すことで、「同じ情報をもっている、選び方は人それぞれであること」を実感できるようにする。 ・「値段」「分量」「品質」「環境への配慮」を中心として、児童の考えを整理する。特に「品質」については、使いやすさ(書きやすい・軽い)や丈夫さなど、具体的に整理する。 ・ノートでは確認できない観点について、野菜(産地)、ハム(表示やマーク)を例に取り上げ、補足する。 ・商品についている表示やマークからも得られる情報があることに着目できるようにし、教科書の「商品についている表示やマーク」を確認する。 ・これまでの学習を基に、何を大切に選ぶか考えて購入するノートを決め、その理由をまとめるようにする。 ・振り返りの視点を3つ示し、具体的に振り返ることができるようにする。 ◇身近な物の選び方について、評価したり、改善したりしている。 ((3) と (4) のワークシートの記述) [思・判・表]	・前時の資料とワークシート ・教科書の「商品についている表示やマーク」
40分			
終末	4 次時の見通しをもつ。	・次時は、題材のまとめの時間であることを確認する。	
2分			

第6時の指導

(1) 目標

今までに学習してきたことを使って「よりよい消費者宣言」をまとめる活動を通して、物や金銭の使い方と買物についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入 3分	1 題材の課題を想起し、本時の課題を設定する。 【学習課題】 題材で学習したことをふり返り、よりよい買い物をするためにこれからの生活で取り組みたいことを「買い物名人〇か条」にまとめよう。		
展開 37分	2 課題を解決する。 (1)「消費者の役割(大切なこと)」について話し合う。 (2)「買い物名人〇か条」をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの児童も考えをもつことができるように、前時までに学習した内容を振り返ってから考えをまとめ、話し合うようにする。 ・「持続可能な社会をめざす」という視点を示して、「環境への配慮」や「商品に対する意思表示」(エシカル消費)であることにも触れるようにする。 ・「困ったことがあったとき」の対処法を確認する。 ・これまでの学習や「消費者の役割」について話し合ったことを基に、よりよい買い物をするためにこれからの生活で取り組みたいことをまとめることを確認する。 ・〇か条については、①第1時に考えた自分の課題を解決する内容を入れること、②それぞれを設定した理由を記入することを指示する。 <p>◇物や金銭の使い方と買物についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。</p> <p>◇物や金銭の使い方について工夫し、実践しようとしている。</p> <p>(「買い物名人〇か条」)[思・判・表][主体]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習のワークシート ・第1時のワークシート
終末 5分	4 題材の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「この題材の学習で学んだこと」と「どのように学習に取り組んだか」について振り返るようにすることで、自分の学習の成果を実感できるようにする。 ・何人か取り上げ、題材の学習を通して学んだことやできるようになったことを価値付けるようにする。 ・これからも続く消費生活の中で、一人一人の実践がよりよい消費生活につながることを伝える。 	